

平成21年度 2月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

相変わらず、社会の不況は残っているが、その中で国際協力分野に取り組もうという問い合わせが非常に多くなってきている。新しい世界に目を向けようという試みでもあると思われるが、退職者や若者、更には学校を通じて、中高生の関心も高まっているように思われる。またNGOという言葉自体の浸透が非常に進んでおり、北海道の地域でも、国内問題と国際問題の関係を意識してきているように思われる。今後は、問い合わせに対応するだけでなく、WEBなどを通じて、更に情報の発信を進めてゆきたいと考えている。札幌、旭川などでの国際協力の話をしたり、国際協力のパネラーをやることも多くなり、更なる国際協力への理解と、NGO相談員の広報に力を入れてゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

| | | |
|--------|--|--|
| 1 | ハイチ・チリ地震の支援について | |
| 相談内容 | ハイチ・チリ地震でどのような国際協力が行われているか知りたい | |
| 対応内容 | 当団体のプログラムに参加しているハイチ、チリ関係者からの情報を得ると共に、実際に活動している団体からの情報や、寄付先について説明をする。また、震災支援のためのイベントをやりたいという相談も受けており、支援の仕方についてもアドバイスをした | |
| 特筆した理由 | ①国際協力、寄付をしたいといった問い合わせが多くなったため ②一般の人たちの関心が国内経済だけではなく、世界の状況に向く傾向が見られた | |

| | | |
|--------|---|--|
| 2 | NGO団体の設立とボランティア確保について | |
| 相談内容 | 多くのボランティアがさんかするNGO団体を運営してゆくのはどうしたらいいのか | |
| 対応内容 | ボランティアを無給で働く職員との位置付けをもっている人がいたことから、ボランティアコーディネーションについてしっかり説明をした。また、法人格をとることが大切なのではなく、しっかりと自分たちのミッションを持った上で、活動の計画を立てるべきだということをアドバイスした。 | |
| 特筆した理由 | ①ボランティアへの意識がちょっと間違っている傾向があったため、しっかり説明 ②団体設立をしたいという前向きな取り組みが多かったため | |

| | | |
|--------|--|--|
| 3 | 高校生や中学生にもわかりやすい国際協力を伝えたい | |
| 相談内容 | 新聞紙上で様々な報道がされているが身近に感じられるようなイベントや授業に取り組んでみたい | |
| 対応内容 | ひとつには、直接、新聞や英語のマガジンを使った説明や授業をすること。また、実際に国際協力分野に携わっている人たちからの話を聞くということで、こちらから派遣できる講師などについて説明をした。更には、フェアトレードチョコなど身近なところから国際協力を知ることができる点について説明をした。 | |
| 特筆した理由 | ①学校での関心の高まりはこれからの世代の国際協力理解につながるため ②こちらからも細やかに情報発信してゆく必要性を感じられたため | |